

(再評価)

資料 3 - 1

令和3年度第4回
関東地方整備局
事業評価監視委員会

明治記念大磯邸園整備事業の 費用対効果分析について (仮想的市場評価法(CVM)の適用)

令和3年12月23日

国土交通省 関東地方整備局

1. 仮想市場評価法(CVM)の適用

- 明治記念大磯邸園整備事業は、「明治150年」関連施策の一環として、明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の一体的な保存・活用を図る事業である。



歴史的遺産を保存・継承することによる価値が存在。

- 「仮想的市場評価法(CVM)適用の指針(平成21年7月 国土交通省)」に基づき、CVMにより便益を算出し、B/C算出により本事業の投資効率性を評価した。

便益(Benefit)の算出

明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産が保存・継承される価値

社会的割引率 4%

費用(Cost)の算出

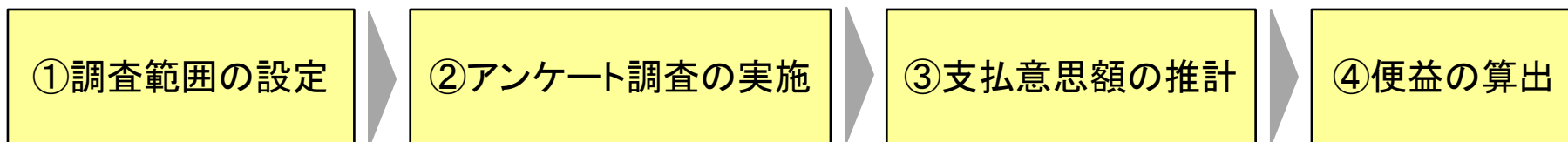
用地費 施設費 維持管理費

社会的割引率 4%

費用対効果 $(B/C) = (\text{便益}) / (\text{費用})$

2. 仮想市場評価法(CVM)による便益算出の概要

<便益の算出手順>



① 調査範囲の設定

- ・ 本事業の便益の及ぶ範囲は全国と想定し、**調査範囲を全国に設定**。
本邸園の整備事業は、閣議決定に基づく国家的記念事業であり、便益は全国に及ぶことが想定されるため。

② アンケート調査の実施

- ・ 回答方式:WEBアンケート
- ・ 回答総数:2,600票
- ・ 対象:全国の世帯(全国人口割合から各地域の目標回答数を設定)
- ・ 調査の内容:本事業についての支払意思とその理由、支払意思額など

③ 支払意思額の推計

- ・ 有効回答(支払意思額の推計に用いる回答)の抽出
- ・ 有効回答からランダム効用モデルを用いた賛成率曲線を構築し、支払意思額を推計

④ 便益の算出

- ・ 1世帯あたりの支払意思額に全国世帯数と有効回答率を乗ずることで便益を算出

便益

=

全国世帯数

×

有効回答率

×

1世帯あたりの
支払意思額